

# 北見武道通信

## ニュースレター 【事務局情報】

## 次の打ち合わせ合同会議は 9 月以降！？

・武道館の基本構想が 7 月 5 日の市議会総務教育常任委員会に示され、延べ床面積 3 千平方メートル、木質化推進方針に絡めた建物とされ、7 月 11 日の合同会議でも説明を受けました。今後のスケジュール等の説明の中に、設計業者の選定があり、選定方式は現在検討中とのこと。いよいよ武道館建設の実現に向けた具体的な話が行われ、実施設計に向け流れも加速されることが予想されます。武道館建設構想委員会では各武道関係団体の細かな部分を各構想委員が取りまとめ、次回 9 月以降に予定されている、北見市教育委員会(社会教育施設整備推進室)との会議に備えたい考えです。

### 【北見ぼんちまつり 納涼花火大会】

毎年恒例となった納涼花火大会が、18 日 19:30 から常呂川河川敷にて開催されました。今年は、雨による順延でしたが絶好の花火日和となり、浴衣姿の子供連れや艶やかな女性たちが歓声をあげていました。



### 【NPO 法人申請進捗情報】

北海道オホーツク総合振興局(道民生活係 松橋主任)は北見市武道振興協会より提出された関係書類を北海道に既に送っており、審査中とのこと。道からの回答を待ち、当理事長宛に案内があるとのことでした。本申請に備える書類は、すべて整っており、後は道と北海道オホーツク総合振興局からの連絡待ちとなっています。

### 東日本大地震・大津波 被災地ボランティア活動②

6 月 17 日、野坂理事長、村上理事は始めて被災地の視察ですので東北道ルート(盛岡経由)で前回と同ルートで宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市と経由しました。宮古市の海岸寄り市街地では、瓦礫類はほとんど片付き、建物もかなり復旧し、前回の悲惨な様相が一変していましたが、山田町から釜石市までの海岸寄りの小さな町は前回と何ら変わらずあまり進展していない状況でした。その日の午後には陸前高田市に入りました。



前回は、市街中心地が壊滅状態で街中が瓦礫だらけで道路のみ片付けられていた状況でしたが、今回、瓦礫類は数箇所の置き場に集積され、建物の基礎と鉄骨の建物だけが残し、かなり見通しがよくなっていて陸前高田市の情報では瓦礫の撤去率は 30%ということでありました。次号へつづく(宮末)

### 【事務局情報】武道館の早期建設を願って】シリーズ 今週の募金美人



『「へ～、北見に武道館が出来るの?!」・・・はい、出来ることになりました。「へ～、どこにできるの?」道立体育センターの隣です。「長年の夢がかなってよかったね」はい、嬉しいです。「でも、出来たらまた、余計に忙しくなるね」・・・』こんな会話がよくかわされる待合室で、「身体に気をつけて頑張ってるね。」と心配してくれた、幸町の斉藤智恵子さん。笑顔で「早く武道館を見てみたい。」と期待をこめ募金してくれました。